

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

私たちは、愛情を持って子どもを教育し、共に成長します。

不祥事根絶のための行動計画

福山市立鷹取中学校  
作成責任者 校長 田丸 誠

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○サービス研修において、自己課題としての認識、とらえ方が弱い。	○サービス研修では、体験的な内容やロールプレイなど、工夫したものを取り入れる。	○アンケートを基にした面談や研修を実施する。 ○ヒヤリハット体験を基にした研修を実施する。	○学期に1回、サービス研修についてのアンケート調査を行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○提出物等、期限が守られないことがある。 ○企画委員会や校内研修でとりきめた約束事がなかなか徹底できない。 ○学級の課題を、学年・学校の課題として組織的な取組ができていない。	○全員が意識して守る ○全員が学校組織の一員であることを自覚する。 ○各学級の課題と取組を交流する場を持つ。	○学年を中心に声を掛け合う。 ○毎月自己評価を行う。 ○定期的に学年会を開く。 ・1か月、1週間の流れを理解し、見通しを持った仕事をする。 ・共通認識で取り組めるよう、しっかり話し合う。	○提出期限で毎回チェックする。 ○毎月自己評価でチェックする。 ○学年主任会をもつ。
相談体制の充実	○「体罰、セクシャルハラスメント相談窓口」の周知はできているが、十分に機能していない。	○「体罰、セクシャルハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行ない、相談しやすい体制をつくる。 ○ホームページに、メールによる相談も可能であることを明記する。	○校内にポスターを掲示し、学校だより、懇談での資料配布等を行う。 ○毎日メールをチェックし、適切に対応する。	○生徒・教職員のアンケートを毎学期、保護者アンケートは年1回実施する。(封筒で回収) ○毎日、メールをチェックする。